

和泉市教委交渉

「外国語活動」「外国語」について 小学校英語リーダー増員要求

11月28日泉北教組は、和泉市教委と教育要求書に基づく交渉を行いました。要求書の主な回答と、交渉で新たに確認された追加回答は以下の通りです。

一・少人数学級について

〈回答〉小中学校の少人数学級については、府・国に対して要望を継続する。市独自の小中学校の35人以下学級の措置など市費負担による教員加配については、平成29年度9月から、小学校3年生算数の少人数指導に係る非常勤講師を配置している。

【追加】◆少人数学級の必要性について認識している。

◆小学校3年生算数の少人数指導に係る非常勤講師について、週あたりの残時間がある学校は、学年・教科のしほりなく柔軟に運用できるようにしている。4年生への配置については、研究していく。

二・教職員の長時間過密労働の解消に向けて

〈回答〉教職員の時間外勤務の削減については、今後

も研究していく。平成30年度10月から、校務支援システムの「SKY SEA」ソフトを活用し、より客観的に教職員の出勤を把握している。

【追加】◆勤務時間は午前2時で一度リセットしているが、始業時より早くの出勤時刻もシステム上はカウントしている。午前5時半に電源が必ず落ちることに

ついては確認する。◆月あたりの残業時間が80時間を超える教職員には、管理職が個別に声かけをし、状況を確認した上で、改善指導を行っている。◆電話設定についての状況調査（アンケート）の結果、小学校・義務教育学校前期課程で79%、中学校・義務教育学校後期課程で60%の教職員が働き方改革が進んだと実感している。◆スクールサポートスタッフの状況調査（ア

ンケート）の結果、67%の教職員が効果を感じている。広げていきたいと考えている。◆「変形労働時間制」について、課題があると感じている教職員がいるということは府教委に伝えている。

三・「特別の教科・道徳」について

〈回答〉教育課程の編成権は学校にあり、教科書の使用義務を遵守した上で、教科書外の教材で有益適切なものは使用することができ

る。【追加】年間指導計画に位置付け、計画的に指導を行う必要はあるが、計画の変更や使用している教材について調査する予定はない。

四・「外国語活動」「外国語」について

【追加】今年度、9名11校に小学校英語リーダー加配を配置している。来年度に向けて、府を通じて国に増員を要求している。

五・消耗品費について

〈回答〉引き続き予算確保に向け努力していく。

【追加】全校で昨年度に比べ300万円増額している。学校の要望も踏まえ、備品購入費との配分を柔軟に変えられるようにしている。

六・施設一体型小中一貫校について

〈回答〉小中一貫校は、様々な現状の課題を解決するための一つの方法だと考えており、教育的意義については、小中一貫教育連絡協議会等を通じて検証してきたところである。

【追加】槇尾中学校区、富秋中学校区について、設計段階になれば教職員の意見を聞いていく。

七・校務用パソコンのサーバー接続状況について

〈回答〉昨年度末、ネットワーク環境の改修を行った。

【追加】◆校務用パソコンは、直接データセンターにつながるように、ルートの

変更を行った。◆教室のWiFi環境については、改善に向けて対応を進めている。

八・「三市一町教育課程研修会」について

〈回答〉働き方改革の趣旨を踏まえ、研究会のあり方については、改善を図っていききたい。

【追加】寄せられた意見や質問について、1月に三市一町教育課程研修会担当で検討して回答する。

九・夏休み中のプール指導について

〈回答〉暑さ対策を含め、今後検討していく。

【追加】暑さ指数にもとづいて実施の判断を行うよう指導している。

十・小学校水泳記録会について

〈回答〉体育行事については、子どもたちの健康教育の一環として長年行ってきたことなどを踏まえ、検討していきたい。

【追加】日程を含め、実施の方向で検討している。

